

記念学習講演

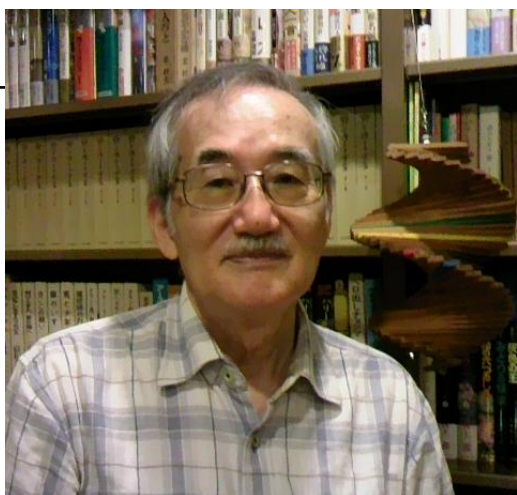
虚構の「放射能安全基準」を斬る！

福島甲状腺がんの原因は原発事故だ！

講師 宗川吉汪（そうかわよしひろ）先生

京都工芸繊維大学名誉教授

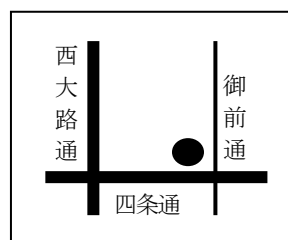
日本科学者会議京都支部代表幹事



■日時 2017年4月22日（土）
14:30～16:30

■会場 ラボール京都（京都労働者総合会館）
4階 第1会議室
（中京区・四条通御前）

■参加費 無料



■福島では2017年4月をめどに帰還困難区域を除く多くの地域で避難指示が解除され、実質的な強制帰還がすすめられています。その基準とされているのが年間線量 20mSv 以下の放射能は「安全だ！」とする虚構の「放射能安全論」です。本当にそうなのか？ 現実はどうなのか？ 多発している小児甲状腺がんの事実から放射能汚染のもたらしている福島の実態に迫る学習講演を行ないます。

■講師に宗川吉汪先生をお願いしました。宗川先生は一昨年ブックレット『福島原発事故と小児甲状腺がん』（共著）を著され、福島の実態を鋭く解き明かされました。今年4月にもブックレットの第2弾発行を予定されています。

■真実に目を向け、事実に基づいて低線量被曝の危険性を学び、被災者の完全救済と“核の脅威から解放される”社会実現に向けた運動を強めていきましょう。

■当日は同会場で13時30分から京都「被爆2世・3世の会」年次総会も開催します。会員外の方の参加も自由です。お時間のある方はこちらにも是非ご参加下さい。